

- 日時:平成28年2月5日 14時～15時
- 場所:東京ガーデンパレス
- 参加人数:76名
- アンケート回答:21名 (回収率:27.6%)

1、教員養成研修内容としてご参考になりましたか？

参考になったと思われる場合は、どのような点が参考になったかをお書きください。

- ・3段階に分けた内容で受講できること。(コマシラバスの作成→シラバスの作成→評価ができるようになる)
- ・IDの方法論を用いた、シラバス,コマシラバスの作成及び教員育成は、専門学校の教育の質向上の上では重要である。
- ・実証講座,eラーニング講座を利用し広く教員の質向上が可能となった。
- ・形式的フォーマットの利便性を限界を理解できた。
- ・研修の達成状況がよく理解できた。(学内で普及させていくことが今後の課題)
- ・教員養成研修モデルについて知らなかった。
- ・eラーニングでの入門編活用が実用的ではないか。
- ・参考になるものは何一つなかった。
- ・多くの参加者が同様に感じていたが、あまりにも抽象的すぎており中身がない。現場で活かせるものは何もない。この程度の報告はどんな業者でもできる。委託事業としてはお粗末である。
- ・目標の項目に使う「習得する」「理解する」は抽象表現であることが参考になりました。
- ・インストラクショナルデザイン
- ・当校もコマシラバスを作成しなければいけないと考えていますが、作業量を計算すると手がつけられていないのが現状です。
- ・新任教員向け講座の目標として、コマシラバスの作成ができるということは、とても参考になった。Webで詳細を見たいと思った。
- ・インストラクショナルデザイン
- ・教員の質保証について、一つの有効な手法と理解しています。コマシラバスまでの道のり、遠くも感じますが取り組みたいと思います。
- ・教員養成研修について知った。
- ・教材ダウンロード可能であること。
- ・eラーニング講座があること。
- ・学習目標の明確化の重要性を改めて認識できた。
- ・ID研修の実証講座のアンケート集計結果が参考になった。
- ・ID理論を専門学校教員向けに開発されている点を理解し、自校の教員にもeラーニングで受講させ教員の質向上に役立てたい。
- ・ID講座新任教員編を受講しました。運営サイドの意図や、講座に対する検証がしっかり行われているので、さらに講座の研修が向上していくと感じました。
- ・とても参考になったことは、運営,開発サイドの目標や目的がわかったことです。受講する側にとっても、意図が明確になると意欲もちがってくると感じます。
- ・本校でもシラバスの整備が完全にはできていないので、これを利用して行ってみたいと思いました。
- ・今回初めて参加いたしましたので、内容の把握はこれからダウンロードした後にさせていただきます。
- ・ガニエの9ヶ条については、逆に教員評価(ルーブリック)に利用している。自らの事業を評価することは非常に大切なことだと感じる。
- ・シラバス作成やその評価に関しては、たいへん関心がありましたので、その手法を学びたいと思いました。
- ・理論と実践をどのように学んでいったらよいのか、それを作り上げるヒントになりました。

2、次回教員養成研修について、どのような内容の研修プログラムの開発をご希望されますか？

- ・教員に必要な心理学研修。・学生指導に役立つもの。
- ・「IDの講師向け講座」内容の改善をしていただき、再開をしていただきたい。
- ・教員に必要な統計学。(全ての授業,教育を評価するためには統計学が必要であるため。)
- ・カリキュラム開発研修(シラバス,コマシラバスの上位にある為)
- ・スクールハラスメントについて研修する事が出来ないか検討している。
- ・教育課程編成委員会←→企業 この間にどのようなカリキュラム作成へとつながるのか。
- ・各学科(業界)におけるシンギュラリィを前提とした働き方の変化に対する、教育現場の取り組むべき内容(方向)について。
- ・ICTの活用
- ・インストラクショナルデザイン実証講座をさらに充実させたもの。
- ・ID研修eラーニング講座のようなWeb利用についての研修メニューが増える事を希望いたします。
- ・専門分野のカリキュラム開発事例など
- ・研修内容は、受講した際は十分記憶に残ります。実際の現場での実践を行う前に、模擬授業形式の研修があると効果的かと感じました。(予行演習的なもの)(受講者の意欲、時間等の課題があるかもしれませんが)
- ・アクティブラーニング,グループワーク,授業の効果的運用方法などです。